



### 小・中学生英語サマーキャンプ

生きた英語を使った生活を体験しようと、7月30日(水)～8月1日(金)に、夏休み恒例の「狭山市小・中学生英語サマーキャンプ」が、入間市青少年活動センターで開催されました。



キャンプに参加した小学6年生と中学1年生の26名は、5～6人のグループになり、ALT(外国語指導助手)1名を交えて英語での生活をスタート。約20名の教員や英語活動支援員もボランティアとして参加し、児童・生徒たちの英語のコミュニケーションをサポートしました。

フィールドワークやキャンプファイアなど、仲間と寝食を共にしながら英語一色に染まった3日間を過ごし、自信をつけた子ども達。最終日には、保護者を前に堂々と英語でスピーチ発表することができました。



間を過ごし、自信をつけた子ども達。最終日には、保護者を前に堂々と英語でスピーチ発表することができました。

### 夏休みに「かけっこ教室」を開催

8月24日(日)、小学3～6年生を対象にした「かけっこ教室」が入間川小学校の校庭で開催されました。



狭山市陸上競技協会の皆さんが講師となり、「正しく・速く・美しく」走るコツを31人の児童に伝授。準備運動の仕方から、ジャンプやスキップを取り入れた練習方法まで指導しました。

「楽しく走れば誰でも美しいフォームで走ることができるようになる」と聞いた児童たちは、どの練習にも笑顔で取り組んでいました。

### 礼に始まり礼に終わる

8月18日(月)～22日(金)／初心者剣道教室(狭山台中学校)

初心者剣道教室に子どもから大人まで男女19名が参加。

一週間の練習で竹刀の握り方から礼の仕方まで、剣道の基礎と精神を学びました。



### 技術だけでなく心も伝える指導者に

8月22日(金)／福祉教育サポーター講座(社会福祉会館)



学校などで福祉について教える福祉教育サポーター。受講者は車いすを使って支援する側とされる側を体験。心が通うことの大切さを実感しました。

## 狭山の今昔物語 Vol.42 — 狭山消防署分署 —

昭和40年代後半、市の人口は7万を超え、その後も毎月400人前後のペースで増加。それに伴う市街地の拡大や交通量の増加により、消防分署の開設など、消防力の強化が求められていました。48年に富士見、54年に広瀬、58年には水野に分署が開署し、市民の一層の安全・安心が確保されました。



水槽付ポンプ車、救急車などを配備した富士見分署(昭和49年)



建物の密集・高層化に合わせて消防力も強化してきました

### 迷路を旅して 迷路で発見

8月19日(火)～24日(日)／  
迷路絵本作家香川元太郎原画展(狭山市市民センター)

展示されている絵の一枚一枚にクイズや謎解きが。絵の横に書いてあるヒントをもとに、迷路を抜いたり、かくし絵をさがしたりとワクワクがいっぱいです。訪れた人は、絵を眺め考えながら、時間の経つのも忘れませんでした。



「あっ／み／つけた」



大きく映し出された迷路を香川さんと一緒に楽しむ

### ひまわり畑の中にはクイズコーナーも

8月／ほりかねのひまわり畑(堀兼地区)

堀兼花のボランティアの皆さんが中心となって、休耕地を利用し毎年ひまわりを植えています。今年も6月に堀兼小・中学校の児童・生徒が手伝って種をまいたひまわりは、台風にも負けず、きれいに咲き揃いました。



私たちが、丹誠込めて育てたひまわりです



あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

### 自然の中で思いっきり体を動かそう

8月23日(土)～30日(土)／ほんきっこ2014夏(狭山台中央公園)

毎月第2土・日曜日に、「本気であそぶ子☆応援団」が実施している「ほんきっこ」の夏のスペシャル版。林の中に出現したプレーパークで、子ども達の自主性を尊重するこのイベントでは、ロープに登るのも、泥んこ遊びなども自由な発想で遊ぶことができます。



しっかり握って、ロープを登ると風景が違って見えるよ

### 季節の野菜を摂るのが体に一番

8月23日(土)／こころもお腹まんぷく会(狭山元気プラザ)

広報さやまに掲載中の「もぐもぐsayama」のレシピを使い、夏の疲れた体にやさしい料理を親子で作る教室が開催されました。参加した37名の親子は、ナスや枝豆などの地場野菜を使った料理に取り組み、こころもお腹も“まんぷく”でした。



煮込み茶バーグ、抹茶ずんだなどを作りました